2012年12月21日

声　明

府中市に”自然エネルギー社会をめざす
都市宣言”を求める署名実行委員会

市民の皆さん
私たちは2012年の1月末以来、実行委員会を結成し、ほぼ10ヶ月の間、20の団体、114名の個人の賛同をえて”府中市に自然エネルギー社会をめざす都市宣言を求める署名運動を行なってきました。

私たちは（1）各賛同団体内部での取り組み、（2）10回を越える毎回ほぼ10名以上によるフォーリス前での訴え、（3）福祉まつりや農業まつりなど市内の各種イベントや賛同団体等が主催したイベントでの訴え、（4）大規模なファクス署名用紙の投函、などを行い、また（5）市内各団体からの協力の申し出、（6）各個人の力強い自発的協力などを得て目標とする市内署名数1万名に対して9406名の署名が集まり、全体では**1万5316名**に達しました。

署名簿や各種のチラシを5万枚以上運用し、ポスターをつくり、更にホームページを開設し（10ヶ月で30回以上更新）、幅広い全市民的な運動になることをめざして努力しました。
更に自然エネルギー社会をめざす未来を展望するために、スタート集会（2月）、ステップアップ集会（8月）、ラストスパート集会（10月）で講演集会を実施し、延べ200名以上の方が参加しました。

これらの活動は多くの団体、個人、更に街頭・集会の場からのあたたかい運動資金カンパ（総額約40万円）に支えられてきました。
たくさんの署名が集まり、多面的に運動が発展したしたことは、この運動に賛同し、関心を寄せていただいたすべての方々と団体各位の物心にわたるご協力の賜物であり、心より感謝致します。

2012年12月議会への陳情署名の提出にあたっては、2回にわたり全議員に採択を要請する手紙を送り、各会派には、「検討資料」を手渡し、面会を求め、12月11日の建設環境委員会での審査には31名の方が傍聴し、12月18日の本会議には13名が参加しました。

おりしも12月16日投票の衆議院選挙、都知事選での争点ともかさなり、各議員には熱心な議論をいただきましたが、今議会では最終的に「継続審査に付する」ことになりました。

今後、1万5316名の熱い思いを実らせるために、深刻な原発直下の活断層問題の顕在化など情勢の展開に即して、2013年3月22日開催の3月議会以降の市議会で効果的な「補足説明」を行い、再び各議員・会派に要請を行なうなど多面的な努力を行なうことで府中市に自然エネルギー社会をめざす都市宣言を実現することは不可能ではありません。
実行委員会も、採択にむけて可能な努力・工夫をしたいと思います。継続審査にかかっている期間、署名の追加提出は可能です。追加署名の積み上げ、お近くの議員への採択の個々のお願い、議会への傍聴参加など引き続きご協力をお願い致します。

この署名運動のなかで誕生した自然エネルギーの学習・研究・普及を目的とした府中市の社会教育関係団体である「自然エネルギーを考える会」が2013年2月23日に署名運動の一周年を記念し、これからの自然エネルギー社会をめざす取り組みの発展を期して講演集会を開きます。多数ご参集下さい。